

# 図画工作科 指導改善のポイント⑤

## ～〔共通事項〕の視点で指導を見直す～

〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の活動の中で、共通に働いている資質や能力であり、造形活動や鑑賞活動を豊かにするための指導事項として示されています。〔共通事項〕の視点を踏まえて図画工作科の指導改善を図っていくにはどのようなことが大切か、そのポイントを確認していきます。

〔共通事項〕の視点で表現及び鑑賞の指導を見直していきましょう。



### 〔共通事項〕の二つの視点

学習指導要領では、〔共通事項〕を次の二つに整理し、示しています。

- ア 形や色などに関する事項
- イ イメージに関する事項

アは、児童が自らの感覚や活動を通して、形や色など（形や色、線や面、動きや奥行きなどの対象の特徴）をとらえることを示しています。

イは、児童が自分のイメージをもつことを示しています。

また、アとイは、アから引き続いてイが発揮されたり、イを基に形や色などをとらえたりするなど、相互に関連し合う関係にあります。

### 〔共通事項〕を踏まえた指導改善

指導に当たっては、〔共通事項〕が表現及び鑑賞の活動の全体にかかわる事項であることを踏まえて、これまでの指導内容や方法を〔共通事項〕の視点で見直し、改善することが重要です。

以下、中学年の〔共通事項〕のア及びイを基に、どのように指導改善を図ったらよいか確認します。

- ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。

アの視点を踏まえれば、児童が絵の具を混ぜてできた色や、彫刻刀で彫った線などに、どのような感じ（冷たさや鋭さなど）をもったのかを、児童自身に気付かせ、表し方を工夫させていくような展開が考えられます。（混色の知識や彫刻刀の違いによる彫りの効果をあらかじめ教えるような流れとは大きく異なります。）

- イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

この視点を踏まえれば、材料の色や触った感じなどを基に児童にイメージをもたせ、そこから自分の表したいことを見付けさせたり、鑑賞させたりする展開が考えられます。

指導に当たっては、児童の姿や文章、言葉などから常に児童のイメージを把握し、それに寄り添った指導を行うことが求められます。

### 〔共通事項〕を踏まえた指導改善の例

実際の授業をイメージして、〔共通事項〕の視点を踏まえた指導方法や指導上の配慮事項を考えてみたいと思います。

- 題材名「クリスタルファンタジー」（立体に表す）第3学年

（教科書「図画工作 3・4上」日本文教出版より）

- 題材の目標 光を通す材料の形や色、組合せ方を工夫して、思い付いたものになるように立体に表す。

段階	学習活動	○〔共通事項〕の視点を踏まえた指導上の配慮事項
事前	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの透明な材料を集める。</li> </ul>	
表現の始まり	<ul style="list-style-type: none"> <li>透明な材料に光を通したり、組み合わせたりして、形や色、組合せなどの<b>感じ</b>をとらえる。</li> <li>形や色などの<b>感じ</b>を基に自分なりの<b>イメージ</b>をもち、表したいことを見付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料の形や色などの<b>感じ</b>をとらえられるよう、光を通したり、組み合わせたりする活動の時間を確保する。</li> <li>○ どのような<b>感じ</b>をもったのかワークシートに記入させ、とらえた<b>感じ</b>を明確にしながら活動に取り組ませるようにする。</li> <li>○ 心に思い浮かべた<b>イメージ</b>を簡単にかきとめたり、話したりする場を設け、表したいことを具体化できるようにする。</li> </ul>
表現の過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>思い付いたものになるように、透明な材料の形や色、組合せなどを工夫して立体に表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童自身がとらえた<b>感じ</b>及び自分なりの<b>イメージ</b>を基に表し方を工夫させる。</li> <li>○ 児童の姿や言葉などから一人一人の児童が大切にしている<b>イメージ</b>をとらえ、称賛したり、つまずきを援助したりする。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を振り返りながら互いの作品を見合い、互いのよさを認め合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相互鑑賞の視点は、「<b>感じ</b>及び自分なりの<b>イメージ</b>を基に表し方を工夫しているか」とする。</li> </ul>

〔共通事項〕で示されている内容は、対象に対して感性を働かせる児童の具体的な姿と言えます。

児童の主体性を大切にしたい図画工作科の指導を行う上で、欠かすことのできない視点なので、常に意識して指導してください。

